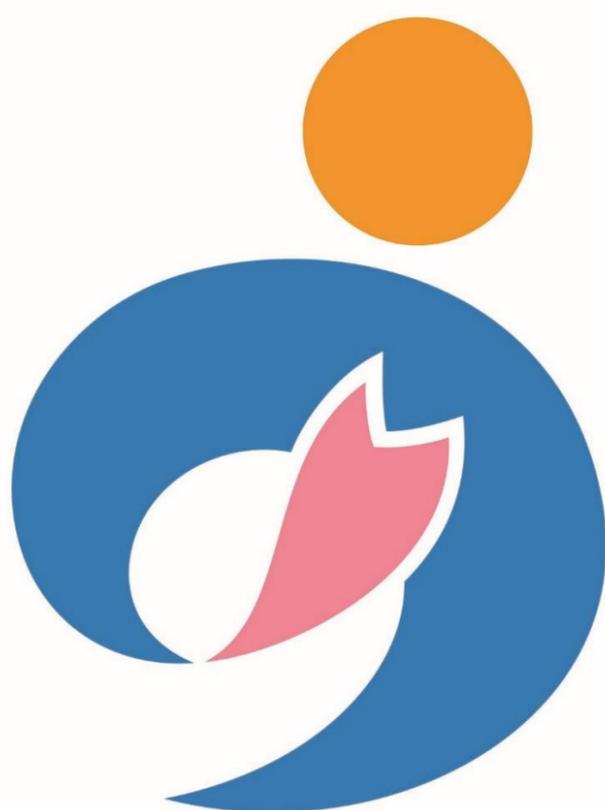


# 令和8年3月補正 予算事業説明書



## 建設課



款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	9	農地費	会計名	一般会計
事業名	2-3	農業水路等長寿命化・防災減災事業						所属名	建設課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	改善が必要な農業用水路					総合計画における位置づけ			
	意図 (対象をどうするか)	補修工事による長寿命化					②魅力ある農林業と商工業の振興			
	成果の視点 (どのような効果があるか)	計画的な補修により維持管理労力の軽減と将来にわたってその機能を安定的に発揮させる。					「4つの挑戦」から見た位置づけ ④活力に挑戦(産業振興と賑わいのまち)			
							根拠法令・要綱等			
							農業水路等長寿命化・防災減災事業実施要領(国) 鳥取県土地改良事業補助金交付要綱			
予算状況		補正前の額	補正額	計						
		48,000 千円	15,940 千円	63,940 千円						

【提案理由】

令和8年度に農業用水路を改修する予定の阿賀地区・掛相地区を対象として、国の令和7年度経済対策補正予算が配分される見込みとなったことから、本補正に計上して事業進捗を図りたい。

【事業内容】

1. 事業対象(総事業費200万円以上)

・きめ細やかな長寿命化対策

農業水利施設の老朽化にきめ細やかに対応して長寿命化を図るほか、水管理や維持管理の省力化に資する取組を支援する。

・機動的な防災減災対策

農業水利施設の機能低下により、災害のおそれが生じている箇所において、その機能を回復するとともに、被害の発生を未然に防ぐための取組や、事故の防止などリスク管理に資する取組を支援する。

【状況】

○法勝寺地区農業水路等長寿命化・防災減災事業(R5~R8)

○阿賀地区農業水路等長寿命化・防災減災事業(R6~R8)

○掛相地区農業水路等長寿命化・防災減災事業(R6~R8)

単位:千円

地区名	事業内容	事業費		負担区分		
		工事費	計	県	町	地元
法勝寺地区	水路改修 L=110m	5,000	5,000	3,750	1,000	250
阿賀地区	水路改修 L=670m	23,000	23,000	17,250	4,600	1,150
掛相地区	水路改修 L=1,300m	20,000	20,000	15,000	4,000	1,000
計		48,000	48,000	36,000	9,600	2,400

【対応策】

単位:千円

地区名	事業内容	事業費		負担区分		
		工事費	計	県	町	地元
法勝寺地区	水路改修 L=110m	5,000	5,000	3,750	1,000	250
阿賀地区	水路改修 L=670m	33,000	33,000	24,750	6,600	1,650
掛相地区	水路改修 L=1,300m	25,940	25,940	19,455	5,188	1,297
計		63,940	63,940	47,955	12,788	3,197

(歳入内訳 単位:千円)

(歳出内訳 単位:千円)

款-項-目-節	科目名称	補正前の額	補正額	節	補正前の額	補正額
12-1-1-1	農業水路等長寿命化・防災減災事業分担金	2,400	797	14 工事請負費	48,000	15,940
15-2-4-1	農業水路等長寿命化・防災減災事業補助金	36,000	11,955			
21-1-3-1	農業水路等長寿命化・防災減災事業債(一般補助施設等整備事業)	8,600	0			
21-1-3-1	農業水路等長寿命化・防災減災事業債(補正予算債)	0	3,100			
	一般財源	1,000	88			
計		48,000	15,940	計	48,000	15,940

有効性

成果の視点からみたこれまでの成果内容、または成果が見込まれる点(前年度までの実績、補正前までの状況をもとに記載)

【※新規要求又は補正予算を行うことによる成果見込を記入すること】

農業水利施設のきめ細やかな長寿命化を実施することで農業の持続的な発展を図ることができる。

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	10	地籍調査費	会計名	一般会計
事業名	1-1	地籍調査事業						所属名	建設課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	町行政区域内の毎筆の土地(国土調査法第二条第5項)						総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)	所有者、地番及び地目の調査並びに境界及び地積に関する測量を行い、その結果を保存する。						⑩快適な生活環境の整備		
	成果の視点 (どのような効果があるか)	土地所有者は境界及び所有者が明確となることで、円滑な土地利用、相続の際のトラブル防止が図れる。町としては迅速な災害復旧、あらゆる公共工事の円滑化に役立つだけでなく、各種整備計画の策定も容易になる。また固定資産税の課税の適正化、公平性に役立つ。						「4つの挑戦」から見た位置づけ ③環境に挑戦(環境と共生のまち)		
予算状況		補正前の額	補正額	計		根拠法令・要綱等		国土調査法		
		22,909 千円	△ 5,800 千円	17,109 千円						

【提案理由】

事業実績見込みに基づき減額補正する。

【事業内容】

○地籍調査の概要

「国土調査法」に基づいて、平成5年度から地籍調査事業を実施。

法務局に登録されている地図(公図)と土地登記簿に基づいて、それぞれの土地の所有者・地番・地目・境界を確認し、それらの土地を測量し、より明確な地図(地籍図)と簿冊(地籍簿)を作成する。

○地籍調査の流れ(3年間にわたって、おおむね次の順序で進めています)

1年度目…基準点測量～現地調査(一筆地調査)～一筆地測量

2年度目…仮閲覧(図面公開)～面積測定～地籍図・地籍簿作成

3年度目…本閲覧～認証～法務局送付

○地籍調査の工程

町単独… A工程(事業計画・事務手続)、B工程(事業準備)、H工程(H2:閲覧)

補助… C工程(地籍図根三角測量)、D工程(地籍図根多角測量)

E工程(E1:地籍図素図等作成、E2:現地調査)

F工程(F I :地籍細部測量、F II -1:一筆地測量、F II -2:原図作成等)

G工程(面積測定)、H工程(H1:地籍簿案作成等、H3:申し出に係る修正)

○地籍調査事業の補助率

国50%、県25%、町25%

【状況】

○業務委託

単位:km<sup>2</sup>

新・継	調査区域(単位区域)	実施面積	作業別
継	天萬の一部(2202)	0.18	(E2工程、F1、F2工程) E2工程

【対応策】

委託料 △5,800千円

・測量設計監理委託料 実績見込額13,330千円－既予算額19,130千円＝△5,800千円

(歳入内訳 単位:千円)

(歳出内訳 単位:千円)

款-項-目-節	科目名称	補正前の額	補正額	節	補正前の額	補正額
15-2-4-1	地籍調査補助金	17,541	△ 4,350	7 報償費	726	
				10 需用費	1,571	
				11 役務費	189	
				12 委託料	19,130	△ 5,800
				13 使用料及び賃借料	1,211	
				18 負担金補助及び交付金	73	
	一般財源	5,368	△ 1,450	26 公課費	9	
	計	22,909	△ 5,800	計	22,909	△ 5,800

有効性

成果の視点からみたこれまでの成果内容、または成果が見込まれる点(前年度までの実績、補正前までの状況をもとに記載)

【※新規要求又は補正予算を行うことによる成果見込を記入すること】

迅速な災害復旧といった防災性の向上、課税の適正化や公平化などに効果をもたらす。

款	5	農林水産費	項	1	農業費	目	10	地籍調査費	会計名	一般会計	
事業名	1-2	地籍調査事業(R7補正)					所属名	建設課			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	町行政区域内の毎筆の土地(国土調査法第二条第5項)					総合計画における位置づけ				
	意図 (対象をどうするか)	所有者、地番及び地目の調査並びに境界及び地積に関する測量を行い、その結果を保存する。					⑩快適な生活環境の整備				
	成果の視点 (どのような効果があるか)	境界、地積、土地所有者が明確となり、円滑な土地利用、防災、公平な税制度に極めて有効である。					「4つの挑戦」から見た位置づけ ③環境に挑戦(環境と共生のまち)				
予算状況		補正前の額	補正額	計		根拠法令・要綱等					
		0 千円	32,929 千円	32,929 千円		国土調査法					

【提案理由】

R8年度実施予定であった本事業が、国のR7年度経済対策の対象となり、R7年度補正事業として実施できる見込みとなった。R7年度補正で事業化を図る場合、要望事業費が全額対象となる見込みのため、事業実施の加速化が図れる。このため、本補正で予算化し事業実施を図りたい。

【事業内容】

○地籍調査の概要

南部町では、「国土調査法」に基づいて、平成5年度から地籍調査事業を行っています。

私達に戸籍があるように土地にも土地の戸籍、つまり、地番・地目・面積・所有者があり、これを「地籍」といいます。

地籍調査とは、法務局に登録されている地図(公図)と土地登記簿に基づいて、それぞれの土地の所有者・地番・地目・境界を確認し、それらの土地を測量し、より明確な地図(地籍図)と簿冊(地籍簿)を作成することです。

○地籍調査の流れ(3年間にわたって、おおむね次の順序で進めています。)

- 1年度目…基準点測量～現地調査(一筆地調査)～一筆地測量
- 2年度目…仮閲覧(図面公開)～面積測定～地籍図・地籍簿作成
- 3年度目…本閲覧～認証～法務局送付

○地籍調査の工程

- 町単独… A工程(事業計画・事務手続)、B工程(事業準備)、H工程(H2:閲覧)
- 補助… C工程(地籍図根三角測量)、D工程(地籍図根多角測量)
- E工程(E1:地籍図素図等作成、E2:現地調査)
- F工程(F I :地籍細部測量、F II -1:一筆地測量、F II -2:原図作成等)
- G工程(面積測定)、H工程(H1:地籍簿案作成等、H3:申し出に係る修正)

○地籍調査事業の補助率

国50%、県25%、町25%

【状況】

○業務委託

新・継	調査区域(単位区域)	実施面積	作業別	換算面積	単位:km <sup>2</sup> 負/防
継	天萬の一部(2202)	0.19	現地調査(3年目/3年計画)	0.01	防
		0.16	測量、閲覧、地籍簿策定(1年目/3年計画)	0.10	防

【対応策】

R8当初予算で計画していた事業を、R7補正事業で実施する。

(歳入内訳 単位:千円)

(歳出内訳 単位:千円)

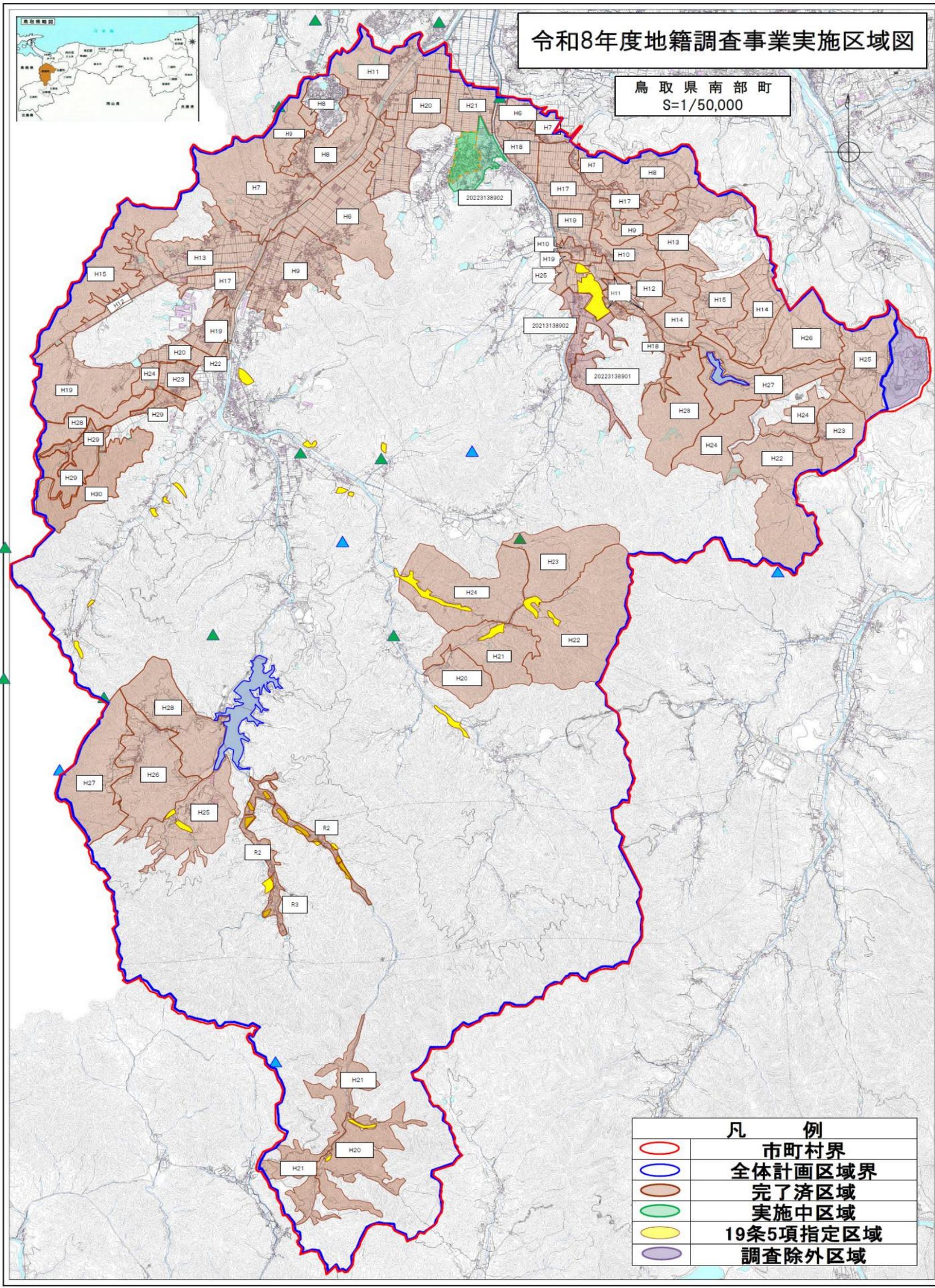
款-項-目-節	科目名称	補正前の額	補正額	節	補正前の額	補正額
15-2-4-1	地籍調査補助金	0	24,643	7 報償費	0	504
				10 需用費	0	1,762
				11 役務費	0	204
				12 委託料	0	29,176
				13 使用料及び賃借料	0	1,211
				18 負担金補助及び交付金	0	72
	一般財源	0	8,286			
	計	0	32,929	計	0	32,929

有効性

成果の視点からみたこれまでの成果内容、または成果が見込まれる点(前年度までの実績、補正前までの状況をもとに記載)

【※新規要求又は補正予算を行うことによる成果見込を記入すること】

平成19年度から現地調査を外注化し、進捗率の向上を図っているが、実施体制の手薄さから年間約0.1km<sup>2</sup>未満の実施にとどまっている。全町完了には、60年以上かかるため町の実施体制の充実が急務である。本補正により計画の進捗率を加速させることが見込める。



款	7	土木費	項	2	道路橋梁費	目	3	道路維持費	会計名	一般会計
事業名	1	道路維持事業						所属名	建設課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	町道				総合計画における位置づけ				
	意図 (対象をどうするか)	町道の施設修繕、除草作業を行い、道路機能を維持する。また、除雪により冬季の住民生活や円滑な緊急活動を支援する。				⑩快適な生活環境の整備				
	成果の視点 (どのような効果があるか)	地域の農業管理団体2団体が除雪を受託しており、請負団体の冬季の仕事創出にもつながっている。また、小型除雪機による除雪により、歩道及び集落の細かい生活道路等の道路機能の維持を図れている。				「4つの挑戦」から見た位置づけ ①くらしに挑戦(安全すこやかに暮らすまち)				
予算状況		補正前の額	補正額	計		根拠法令・要綱等 道路交通法、道路運搬車両法、南部町ふれあい道路サポート事業実施要綱、南部町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例、南部町会計年度任用職員の給与の決定及び支給等に関する規則				
		70,108 千円	31,274 千円	101,382 千円						

【提案理由】

町道除雪の実績及び必要見込みにより、除雪作業費の不足分の増額補正をしたい。

【事業内容】

町道を安全かつ快適に通行するため、道路施設の修繕、安全施設の設置、除草及び除雪等の維持管理を行う。

- 除雪基準  
町道に15cm以上の積雪がある場合
- 対象延長  
町道全長242kmのうち、約138km
- 対除雪体制  
除雪委託 15者、直営  
除雪機械 48台

【状況】

○除雪作業実施状況及び今後の見込み 単位:円

項目	金額
実績額 R8.1.20まで(稼働実績、固定費、整備料、県委託費)	22,600,000
見込額 R8.1.21～ 全町除雪 4,400千円×6回分程度	26,400,000
合計	49,000,000

【対応策】

- 使用料及び賃借料の増額補正

使用料及び賃借料 20,792千円

必要額49,000千円－既予算額17,726千円＝31,274千円

(歳入内訳 単位:千円)

(歳出内訳 単位:千円)

款-項-目-節	科目名称	補正前の額	補正額	節	補正前の額	補正額
13-1-4-1	町道占用料	2,000	0	7 報償費	9	0
13-2-4-1	町道証明手数料	1	0	8 旅費	50	0
13-2-4-2	屋外広告物許可申請手数料	100	0	10 需用費	10,244	0
14-2-4-1	防災・安全交付金	1,000	0	11 役務費	296	0
15-3-3-1	除雪業務委託金	930	0	12 委託料	12,329	0
				13 使用料及び賃借料	17,726	31,274
				14 工事請負費	27,550	0
				15 原材料費	105	0
				17 備品購入費	1,500	0
				18 負担金補助及び交付金	219	0
				26 公課費	80	0
	一般財源	66,077	31,274			
	計	70,108	31,274	計	70,108	31,274

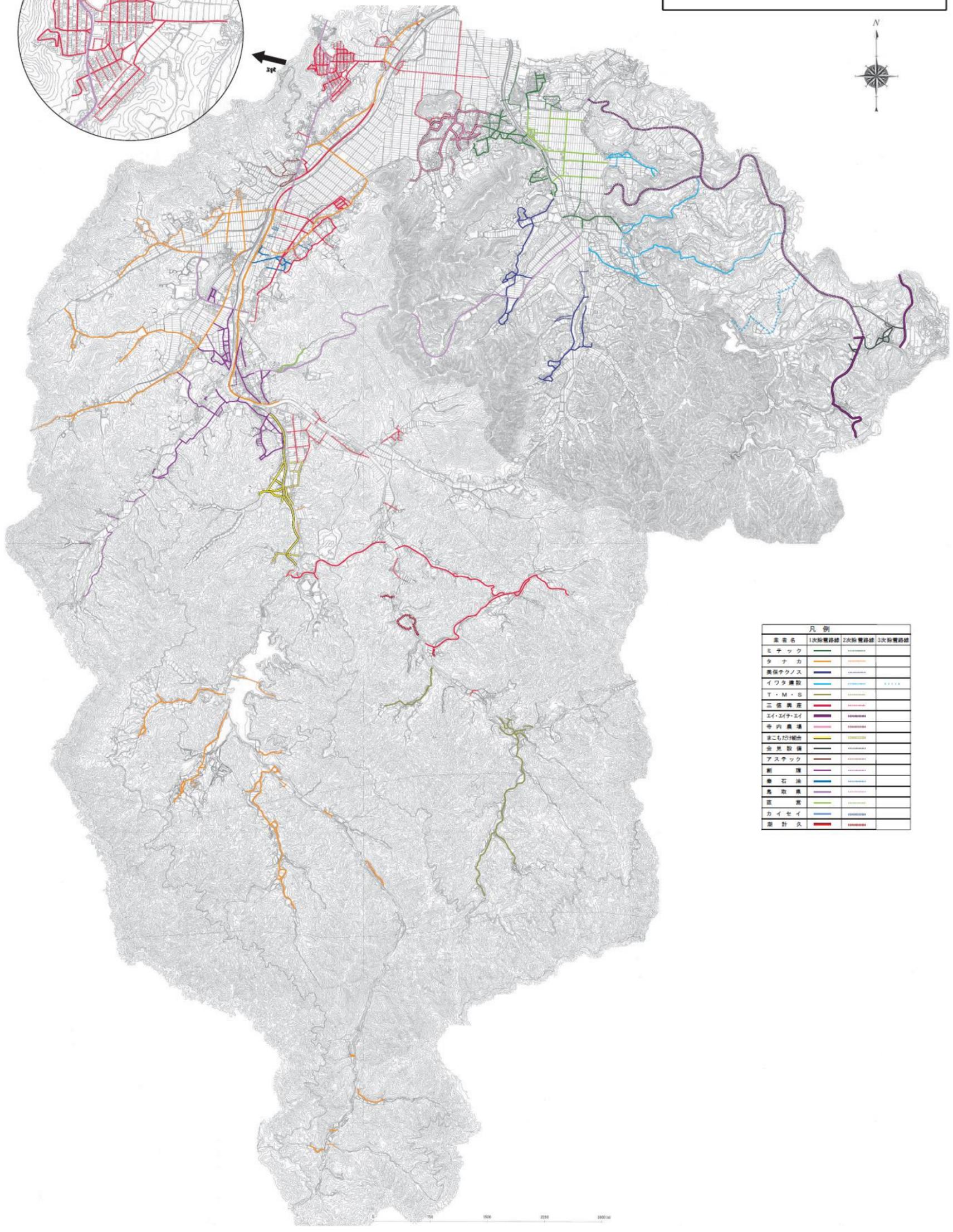
有効性

成果の視点からみたこれまでの成果内容、または成果が見込まれる点(前年度までの実績、補正前までの状況をもとに記載)

【※新規要求又は補正予算を行うことによる成果見込を記入すること】

町道の安全な通行を確保できる。

令和7年度  
南部町除雪計画図



凡例		
道路名	1次除雪路線	2次除雪路線
ミテック	———	.....
タナカ	———	.....
農保テクノス	———	.....
イワタ建設	———	.....
T・M・S	———	.....
三徳興産	———	.....
エイ・エチ・エイ	———	.....
寺内農場	———	.....
まこもたけ組	———	.....
余興設備	———	.....
アステック	———	.....
新 理	———	.....
泰石油	———	.....
鳥取農	———	.....
宮 系	———	.....
カイセイ	———	.....
栗 計 久	———	.....